

申込不要・参加無料



シベリア・サハでの マイナス50度の暮らしと 音楽文化



シベリア・サハ共和国の
金属口琴「ホムス」を通して、
サハの自然と暮らしを紹介します。



2020.1.25 [土] 14:00 - 15:00
紀伊國屋書店札幌本店1階インナーガーデン
札幌市中央区北5条西5-7 sapporo55
※当日は暖かい服装でお越しください。

講師

全学共通教育部
荻原 小百合
准教授



主催：北海道科学大学、北海道新聞社

後援：札幌市教育委員会、雪嶺会（北海道科学大学・北海道工業大学同窓会）、北薬会（北海道科学大学薬学部）、丁酉会（北海道科学大学短期大学部・北海道自動車短期大学同窓会）



お問い合わせ TEL 011-676-8664
E-mail chiiki@hus.ac.jp
北海道科学大学 地域連携・広報課
〒006-8585 北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1
TEL: 011-676-8664 FAX: 011-688-2392 HP: www.hus.ac.jp

音楽文化

マイナス50度の暮らしと

シベリア・サハでの

シベリア・サハ共和国では、冬の気温は摂氏マイナス 50 度～60 度を下回る日があります。その一方、夏は 40 度近くまで上昇し、年間の気温差は 100 度に及びます。そのような厳しい自然と共にあるサハの人々の暮らしはどのようなものでしょう。そしてそこで培われてきた音楽文化とはどのようなものでしょう。

今回はとくにホムスと呼ばれるサハの金属口琴（こうきん）を通して、サハの自然と暮らしを紹介します。ホムスとは、竪琴（たてごと）もしくは蹄鉄の形をした外枠の間に、薄い「振動弁」を取り付けた楽器で、弁を直接手で弾いて音を出します。とても小さい楽器ですが、口琴が織りなす音色やレパートリーは多様です。講演では、実際にホムスの音も交えてお話ししたいと思います。

講師

全学共通教育部

荏原 小百合

准教授



専門は文化人類学、音楽人類学です。ヒトの行為としての音楽実践に着目し、ロシア連邦サハ共和国で製作されている金属口琴ホムスを通じて、サハの自然とヒトの関係性について研究しています。音楽文化研究では、実践に織り込まれたモノやヒトの関係性を詳しく分析します。近年はサハ共和国の人々が北海道を訪れることがとても多くなり、北国同士の交流が盛んになってきていますので、学生も交えた文化交流の輪をひろげてゆきたいです。



2020.1.25 [土] 14:00 - 15:00

紀伊國屋書店札幌本店1階インナーガーデン
札幌市中央区北 5 条西 5-7 sapporo55